

シアナミド液剤散布による‘カワヅザクラ’の開花促進

研究課題名 伊豆の観光活性化を支援する園芸製品の開発（平成23年～平成25年）

[研究のねらい] 伊豆地域を代表する誘客のイベントに‘カワヅザクラ’の景観を楽しむ「河津桜まつり」、「みなみのさくらまつり」がある。しかし、‘カワヅザクラ’の開花時期は年による変動が大きく、あらかじめ決められたイベントの開始時点には開花が始まらないこともある。このため、休眠打破効果があるシアナミド液剤を処理することにより、‘カワヅザクラ’の開花を促進する方法を開発する。

[研究の成果]

1. ‘カワヅザクラ’にシアナミド液剤を有効成分1%で11月中旬に1回立ち木に散布すれば、開花が約2週間早まり、2月上旬ごろから見ごろとなることが明らかになった。
2. シアナミド液剤CX-10（日本カーバイド工業(株)）にさくら（立木・開花促進）への適用が追加され、本技術が実用化した。



シアナミド液剤処理により約2週間開花促進され見ごろとなった‘カワヅザクラ’
（手前の1樹、処理：平成23年11月17日、撮影：平成24年2月17日、南伊豆町）
担当 伊豆農業研究センター TEL：0557-95-2341、e-mail:agriizu@pref.shizuoka.lg.jp)